

平成22年度自転車安全使用の意見交換会 開催報告

消費者、製造事業者、販売業者を対象に自転車利用の実態を技術調査し、長期使用に係る問題点、標準使用条件を検討し、その内容について自転車製造業者等との意見交換会を開催した。

東京会場申込者22名参加者18名、大阪会場申込者35名参加者30名と安全に対する関心は高く、意見交換も活発に行われた意見交換会となった。

東京会場：平成23年2月23日（水）自転車会館2号館802会議室

大阪会場：平成23年3月2日（水）当会技術研究所3階会議室

内容

1. 講演：オフィス家具業界における「標準使用期間」の取り組み
社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）企業価値向上委員会副委員長
プラス株式会社ファニチャーカンパニー マーケティング本部
執行役員 本部長 小池 徳彦氏
自主的に取り組まれているオフィス家具業界の標準使用期間の取り組みの経緯及び内容等をわかりやすく紹介された。別添資料参照
2. 報告：自転車利用の実態技術調査結果及び「標準使用条件」について
当協会技術研究所 開発事業部 次長 吉村 昭三
消費者の利用実態技術調査と製造販売業者の聞き取り調査結果を報告するとともに、標準使用期間の設定に必要な標準使用条件等を提示した。別添資料参照
3. 意見交換会
プラス㈱小池氏、技研吉村をパネラーとして、意見交換を行った。内容については別添要旨のとおり

「長期使用製品安全点検制度」「長期使用製品安全表示制度」に対する理解があまり行き渡っていない状況で、自転車においてもそれに比するなんらかの取り組みが必要であるという啓発はなされたと思われる。今後はBAA制度に反映させていくこと等を含めて使用過程での対策が必要だという認識をさらに促していく必要がある。なお、意見交換の場で、他業種の取り組みとしてのオフィス家具の先進事例は、わかりやすく大変参考になったとともに、オフィス家具サイドでも自転車の課題がオフィス家具の参考になったとの感想をいただいたことを附しておく。

以上